

## 平成29年度 短期目標・具体的施策・成果／取組指標(教科)

教科	短期(重点)目標	具体的方策	成果(数値)/取組(スケジュール)指標
国語	①家庭学習・授業を大切にすることを育てる。 ②自発的に学ぼうとする姿勢を引き出す。 ③生徒が自ら思考し、表現する授業を工夫する。	①家庭学習の習慣が定着するよう、適切な課題を課す。	①国語の家庭学習時間を毎日30分以上確保できたか。(学習時間調査で確認)
		②漢検対応の漢字テストを計画的に実施し、漢検への挑戦を促す。	②漢字検定の受験者を20人以上確保できたか。
		③授業の目標を明示し、生徒の活動も取り入れた展開を構成して、生徒が授業内容を振り返る機会を設け、わかりやすい授業を工夫する。	③授業評価アンケートで満足度80%以上を確保できたか。
地歴・公民	地域社会・国際社会で主体的に生きるために、基礎的な学力の定着を図り、社会的事象への興味関心や課題解決能力を高める。	①小テスト、課題提出(時事ノート等)を実施し、主体的に学習する態度を培う。	①得点率・提出率のアップを図る。(各90%以上を目指す)
		②基礎学力の定着を図るとともに、授業進捗の確保に努める。	②シラバスの進捗指標の達成を図る。
数学	①自学意識を高める	①-1 授業において単元の導入を工夫する。	①週学習時間420分以上を目指す。 課題の提出率90%以上を目指す。
		①-2 予習・復習を習慣づける。	
		①-3 適切な課題を課し、提出を徹底する。	
	②基礎基本を定着させる。	②-1 小テストを利用し基礎学力の定着を図る。	②進研模試での学年の平均偏差値を47以上にする。
②-2 公開授業や研修会に参加し授業力を高める。			
理科	科学に関する興味・関心を高める	実験やICTなどを活用して、自然科学に感動する機会を与え、生徒が主体的・能動的・共同的に学べる授業を目指す。	①実験・実習やICTを活用した授業を、年10回以上を行う。
			②レポートの提出率100%を目指す。
体育	健康、安全に留意させ、運動やスポーツをすることの楽しさを味わい、生涯スポーツの基礎づくりを図る。	①準備運動やからだほぐし等の運動を重点的に取り組むよう、授業設定をする。	①授業での事故、けがの発生率を5%以内にする。
		②個々の能力にあった課題を設定して課題解決のための支援を行い、主体的に取り組めるような授業づくりをする。また、保健で行う授業と密な関わり合いを持たせた授業を展開する。	②単元ごとに重点項目を明確にし、個々の課題を確認する。体育的行事の目標の明確化を図る。

芸術	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。	①発表の機会を設けて、自己を表現する喜びを感じさせる。	①発表の機会を授業ごとに設ける。
		②様々なジャンルや国の芸術作品の鑑賞を取り入れ、自国の文化や諸外国の作品に触れることで、多文化尊重の姿勢を育てる。	②鑑賞教材の充実。鑑賞シートの提出100%。
英語	積極的にコミュニケーションを図る態度を育成し、英語を用いて自分の考えを表現することができる力を養う。	①授業で言語活動を取り入れ、コミュニケーション能力を養う。	①1単元に1回はペアワークやグループワークを取り入れることができたか。
		②予習・復習を習慣づけ、課題提出を徹底させる。	②週学習時間目標(全学年420分以上)を達成できたか。
		③外部試験を積極的に受験するよう促す。	③年間15名以上が英検準2級、2級に合格したか。
家庭	学んだことを自らの生活の中で生かし、生活を豊かにすることができる。	①活動の場面を多く設定し、実践力を高める。	①年間10回以上は実習やグループワークを取り入れた授業を行う。
		②長期休業中に課題を行い、レポートを提出させる。	②レポート提出率90%以上。
情報	卒業後に必要となるPCの扱い方を身につける。	①MSofficeを使用して実践的な練習を行う。	②実技テストを取り入れ、8割以上を目指す。
		①情報端末の安全な使い方を共有する。	②ペーパーテストで7割以上を目指す。